

近代の宗教史、教育史の双方に新たな光を当てる。

# 日本の宗教教育論

島蘭 進、高橋 原、星野靖二

編・解説・解題



クレス出版

## 日本の宗教教育論 全7巻

島蘭 進、高橋 原、星野靖二 編・解説・解題

A5判 / 上製函入 / クロス装 揃定価95,000円(税別)

平成21年11月末日刊行 ISBN978-4-87733-500-7(セット)

- |     |  |                     |
|-----|--|---------------------|
| 第1巻 | 教育宗教 衝突断案、我が国民道徳と宗教との関係、<br>宗教と教育に関する学説及実際 | 定価13,500円(税別) 501-4 |
| 第2巻 | 宗教教育原論                                     | 定価16,500円(税別) 502-1 |
| 第3巻 | 信仰を基とせる 道徳的陶冶の研究、<br>児童宗教教育の基礎             | 定価15,000円(税別) 503-8 |
| 第4巻 | 児童宗教々育の理論と実際、児童 宗教教育                       | 定価14,500円(税別) 504-5 |
| 第5巻 | 宗教教育の原理及実際、宗教教育の本質、<br>宗教教育の理論と実際          | 定価15,000円(税別) 505-2 |
| 第6巻 | 宗教教育概論                                     | 定価 9,500円(税別) 506-9 |
| 第7巻 | 宗教々育の根本問題、教育者の為の 宗教読本                      | 定価11,000円(税別) 507-6 |

## 宗教学の形成過程 全9巻 シリーズ日本の宗教学④

島蘭 進、高橋 原、星野靖二 監修・解説

- |     |                      |                                 |
|-----|----------------------|---------------------------------|
| 第1巻 | 宗教進化論                | 定価11,000円(税別) ISBN4-87733-338-X |
| 第2巻 | 弥児氏宗教三論、宗教進化論        | 定価12,500円(税別) ISBN4-87733-339-8 |
| 第3巻 | 諸教便覧、神道新論、仏道新論 ほか    | 定価 8,500円(税別) ISBN4-87733-340-1 |
| 第4巻 | 世界三聖論、科学的宗教 ほか       | 定価 9,500円(税別) ISBN4-87733-341-X |
| 第5巻 | 宗教研究、比較宗教一斑、宗教の比較的研究 | 定価11,000円(税別) ISBN4-87733-342-8 |
| 第6巻 | 倫理宗教時論、現今将来 倫理及宗教    | 定価10,000円(税別) ISBN4-87733-343-6 |
| 第7巻 | 宗教哲学 ほか              | 定価13,000円(税別) ISBN4-87733-344-4 |
| 第8巻 | 信仰問題 ほか              | 定価 8,500円(税別) ISBN4-87733-345-2 |
| 第9巻 | 吾人の宗教 ほか、解説          | 定価11,000円(税別) ISBN4-87733-346-0 |

揃定価95,000円(税別) ISBN4-87733-337-1(セット)

## 宗教学の諸分野の形成 全9巻 シリーズ日本の宗教学⑤

島蘭 進、高橋 原、星野靖二 監修・解説

- |     |                       |                     |
|-----|-----------------------|---------------------|
| 第1巻 | 宗教心理の研究、増補 宗教と哲学      | 定価11,000円(税別) 391-1 |
| 第2巻 | 宗教哲学概論                | 定価19,000円(税別) 392-8 |
| 第3巻 | 宗教学概論                 | 定価 9,000円(税別) 393-5 |
| 第4巻 | 宗教民族学                 | 定価 9,500円(税別) 394-2 |
| 第5巻 | 輓近宗教学説の研究             | 定価12,000円(税別) 395-9 |
| 第6巻 | 御大典記念 日本宗教大会紀要        | 定価11,000円(税別) 396-6 |
| 第7巻 | 反宗教闘争の旗の下に、宗教学説       | 定価13,000円(税別) 397-3 |
| 第8巻 | マルキシズムと宗教、宗教至上、転換期の宗教 | 定価16,000円(税別) 398-0 |
| 第9巻 | 教派神道の発生過程、教派神道の研究、解説  | 定価14,500円(税別) 399-7 |

揃定価115,000円(税別) ISBN978-4-87733-390-4(セット)

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 メローナ日本橋  
☎03-3808-1821 ☎03-3808-1822 <http://www.kress-jp.com/>



株式会社クレス出版

●書店名



宗教教育は必要か。必要だとすれば、どのような宗教教育が望ましいのか。公立学校では特定宗教の教えに基づく「宗派教育」は避けなければならない。では、宗教教育はまったく必要ないのか。特定宗派が設立した学校では、その宗派の教義に基づいた信徒育成を行えばそれですか。宗教を背景とした人間教育とはどのようなものか。

これらの問題は現代でも熱心に論じられている。日本だけではなく、世界各地で問われている。人類共通の問題とも言える。そしてこれらの問いがもつ意義はますます重くなっている。では、日本ではいつ頃からこのような問題が論じられるようになったのか。そして、どのように展開して現在に至っているのか。

この《日本の宗教教育論》(全7巻)はこうした問題に取り組みための見取り図を提供するような書物を集めて復刻したものである。内村鑑三不敬事件(一八九二年)から派生した「教育と宗教の衝突」論争は、日本の宗教教育論の素地を作ったと言えるかもしれない。その後、近代的な「宗教」概念がゆきわたるようになると、宗教教育への期待は高まっていく。一九一〇年代に活躍した京大教授の谷本富はこうした潮流を代表する人物だ。

一八九九年、文部省訓令一二号によって私立学校での宗教教育も正面からの実施が困難になっていった。だが、キリスト教と仏教の諸集団は学校教育に限らず、広く宗教教育の普及を目指していく。社会主義や労働争議の広まりに対して、宗教による労働者らの穏和化が期待された。大正自由教育運動はこうした潮流と合致するところがあった。

国家神道体制が強化され、教育勅語が絶対的なものとして学校教育の中に定着した昭和初期においてもなお、宗教界・教育界の内外で、「宗教」が教育に必要不可欠であるという声は消えることがなかった。やがて、「宗教情操教育」こそ必要だという主張が受け入れられるようになる。

「宗教教育」を取り上げることで、近代の宗教史、教育史の双方に新たな光を当てることができるだろう。この《日本の宗教教育論》が市民の眼差しのおよびやすいところに置かれ、「宗教教育」に関心をもつ人々の学びに役立ってくれることを期待している。

(東京大学大学院人文社会系研究科教授)

第2巻 宗教教育原論

第四編 宗教々育の方法論

第一章 宗教々育の目的

宗教々育の二綱五日

凡そ宗教々育の目的とする所は、人間の靈的精神的發展を催進し、由つて以て眞に倫理的たり、社會的たる生活を營ましむるにある事は、前既に數言へりし所なり。更に語を變じて云へば、兒童固有の宗教心を益發揚して、善美なる宗教的情操たらしめ、且つ之れに相應する意志あり行爲あらしむると共に、理性に訴へ、知識を資用して、以て他の似而非宗教的迷信並に之れに伴ふ所の濫行を抑制するにあり。但し斯く述べたる所は或は理論的に過ぎたりとならば、余輩は更に又之れを實際的に換言して、凡そ宗教々育は宗教的情操を養ひ、宗教的教理を授け、宗教的勤行に習はし尙且つ宗教的集團に加入し、社會的奉仕に盡力する様馴致せしむるものなりと謂はんとす。此の情操や教理や勤行や集團や奉仕やは實に宗教上肝要の大項目なり。若し更に大別すれば情

第四編 宗教々育の方法論

四三一

第3巻 兒童宗教教育の基礎

第三章 兒童の宗教意識及び其發達

一、兒童の實在感情

吾人は前章に於て兒童の精神が如何に發達するかを一般的に考へたのであるが本章に於ては特に兒童の宗教意識が如何に發達するかを考へて見たいと思ふ。

取り分け、幼少な子供には實在感情が甚だ強烈である。見るものは勿論、聞くものも凡て實在と感じてゐるのである。桃太郎の話も聞いても單に昔噺として聞かないで實際の話として感してゐる。花咲爺の噺も枯木に眞實花が咲いたものと感してゐる。一つ目玉の噺も聞いても然うである。一つ目玉のものが事實存在してゐたものと感してゐる。それから風の音を聞いても風は實在であると感じ、決して空氣の震動であるとか、又は波動であるなどとは考へない。それ程でないのは勿論なれど音は單に音であるとは考へないで矢張り實在であると感してゐる。雷に就いても同じく然うである。

第1巻

教育宗教 衝突断案

中西牛郎著/博文堂/明治26年  
【内容】 教育と宗教の衝突、我大日本の国体、教育上の勅語、衝突及び同化、仏教の同化、儒教の同化、憲法の同化、耶穌教徒の同化せらるべき理由、耶穌教は我國体に同化するも其精神を失はず、宗教革命の一大時機、我邦耶穌教徒が愛國心に乏き所以則ち歐米耶穌教徒が愛國に富みたる所以、本論と井上博士の關係、本論と我邦耶穌教徒に告ぐ、此衝突問題の裡に生れたる這個の怪児

我が国民道徳と宗教との關係

吉田熊次著/敬文館書房/明治45年  
【内容】 国民道徳と宗教、社会教育と宗教、学校教育と宗教

宗教と教育に関する学説及實際

大谷大学尋源会編/無我山房/大正2年  
【内容】 宗教と教育との關係、人格の基礎としての宗教と教育及一般特殊宗教学校、教会と学校との關係、宗教と教育との關係、仏敎家の教育、教育と宗教との關係について、各宗伝道の利害、宗教と教育、宗教と教育の交渉、現代社会に於ける宗教と社会教育、宗教の本質と小学教育、我國教育の根柢、宗教々育論の經過、普通教育と宗教、学校教育と宗教の關係、国家教育と宗教、試みられたる宗教教育

第2巻

宗教教育原論

谷本富著/大日本図書/大正5年  
【内容】 宗教々育の基礎論、宗教々育の標準論、宗教々育の内容論、宗教々育の方法論

第3巻

信仰を基とせる 道徳的陶冶の研究

田中広吉著/広文堂書店/大正3年  
【内容】 兒童期宗教意識の發展と教育、青年期宗教的信仰の發展と教育

兒童宗教教育の基礎

伊藤堅逸著/洛陽堂/大正8年  
【内容】 兒童精神生活の基礎、兒童精神生活の發達、兒童の宗教意識及び其發達、宗教・宗教心及び宗教々育の意義、宗教々育の要素、本能と宗教々育、感情の發達と宗教々育、意志の發達と宗教々育、理智の發達と宗教々育、習慣の構成、人格の養成

第4巻

兒童宗教々育の理論と實際

鈴木積善著/宗教大学社会事業研究室/大正10年  
【内容】 宗教々育の理論、宗教々育の實際

兒童 宗教教育

関寛之著/東洋図書/昭和4年  
【内容】 目的論(宗教教育の意義・目的・価値及び必要・可能・普通教育に導入され得べき範圍、宗教教育論の体系) 原理論(宗教教育の要素・客體・主體・場所・時期・資料) 方法論(宗教教育に應用すべき諸力、宗教教育の方法) 思潮論(学校組織上の思潮、学校課程上の思潮)

第5巻

宗教教育の原理及實際

田村直臣著/警醒社書店/大正9年  
【内容】 心理的宗教の基礎、宗教意識の發達、宗教々育の目的・方法・教科書・教師・場所、日本に於ける宗教々育の實際、宗教々育の参考書 宗教教育の本質

賀川豊彦著/春秋社/昭和4年

【内容】 宗教教育の困難・本質、宗教教育に於ける方法論、自然を通じての宗教教育、感覚・瞑想・労働・社会愛による宗教教育、宗教歴史を通じての宗教教育、敬虔による宗教教育

宗教教育の理論と實際

小原国芳編/玉川学園出版部/昭和5年  
【内容】 理論篇(ベスタロツチーの宗教教育、宗教教育論、兒童心理学より觀たる宗教教育、宗教教育の目的に関する一考察、宗教教育原論の思ひ出、宗教教育の本質、宗教と教育) 實際篇(学校に於ける宗教教育と其實際、宗教教育、基督教と宗教教育、寄宿舎と宗教教育、宗教及び宗教教授、宗教教育の實際)

第6巻

宗教教育概論

大村桂巖著/最新教育研究会/昭和5年  
【内容】 宗教の過去及び現在、宗教々育の語意及び通念、宗教々育の効果、宗教の意義及び概念、宗教々育の意義及び目的、エンメ・ステヴァイツク両氏の宗教々育目的論、宗教と道徳と社会との關係、宗教々育の方法と着眼、教育的精神と宗教的精神、学校に於ける宗教々育、家庭に於ける宗教々育、社会に於ける宗教々育

第7巻

宗教々育の根本問題

東亜学芸協会編/四条書房/昭和6年  
【内容】 日本民族の宗教意識と今後の文化、科学の革新と教育の宗教化、宗教々育一夕話、宗教々育論、宗教的情操の意義及其の涵養法、女性と宗教々育、児童性の研究と宗教々育、宗教々育より觀たる神社、宗教々育の根本方針に就いて、宗教々育への一寄与、兒童期の宗教々育に就いて、宗教々育の本質とその實際的方法、我國に於ける神の意義 教育者の為の 宗教読本  
鶴藤幾太著/モナス/昭和12年  
【内容】 宗教の本質、宗教の發達、宗教の種類